

大学間協定校中国揚州大学の動物科学院から、修士1年学生の馬(マ)銭波(チェン ボ)(Ma Qianbo)さん、姜(ジャン)茂成(マオ チェン)(Jiang Maocheng)さんと修士2年学生の封(フォン)飛飛(フェイ フェイ)(Feng Feifei)さんが、2017年9月17日から10月4日まで18日間の東北大学農学研究科応用動物学系への訪問した。彼らは揚州大学動物科学技術院に所属して動物飼養学を専攻し、ウシ第1胃上皮細胞の培養と牧草成分の発育に及ぼす影響の研究を行っている。分野訪問の際は研究内容の説明を受け、それぞれの観点から積極的に質問し、所属学生と親しく交流をしました。川渡農場には2泊しました。

初日は牧野研究科長を表敬訪問して自己紹介を行い、東北大学大学院農学研究科の説明を受けました。川渡農場を含め、応用動物科学コースに所属する全ての研究室を訪問し、教員ならびに学生達との交流を行いました。また、本学の大学院生(応用動物科学コースの各研究室から2-3名が参加)を相手に、彼らが中国で行っている研究をプレゼンテーションしてくれました。祝日は、機能形態学分野の学生が自らの研究内容の紹介を行い、交流を深めました。本交流が益々発展し、特に両大学の若い学生達が交流を通して、お互いを刺激し合える関係になることを期待したいと強く感じました。

本交流事業を実施できたのは、食と農免疫国際教育研究センターが主幹となっているJSPS研究拠点形成事業で「国際交流を目的とした短期招聘留学生事業にかかる経費」に認められたお陰であり、改めて感謝いたします。また、応用動物学系職員と学生諸君の協力に感謝いたします。



牧野研究科長を表敬訪問



若手研究者交流セミナー